


子どもたちの「生きる力を育てる」PTA活動

～体験活動を通して

PTA名称	下関市立彦島中学校PTA	
所在地	〒750-0075 下関市彦島江の浦町2-25-1	
学校地域の概要・組織	<p>彦島は下関市の南端にある島で、響灘に浮かぶ六連島、彦島の至近にある竹ノ子島、巖流島(正式名称は舟島)の3島を含む。しかし、いずれの島も校区には含まれない。また、島とは名ばかりで、幅わずか10mの水門で下関漁港と相対し(名称は下関漁港閘門で下関本土と彦島を隔てる小門海峡にあるパナマ運河式水門)、関彦橋・彦島大橋により本州と連絡しており交通もきわめて便利である。かつては下関の重要な工業地域として彦島には各種の工場が建ち並び、人口も5万人を超える地域であった。しかし現在、景気の低迷により、各種工場の廃業、移転等が進み、人口も3万人台となっている。そのような中、以前は県下一の生徒数を誇った本校も、現在では特別支援学級を含めて16学級、生徒数382名の中規模校となっている。校区内には、江浦小、角倉小、向井小の3つの小学校があるが、新入生となる予定の児童の約20%(約30人程度)は、毎年、近隣の中等教育学校や北九州等の私立中学校に流出しており、学力面や生徒指導面で課題を生じる要因ともなっている。</p> <p>しかし、小中のPTA会員の仲は良く、昨年度からは小中連携協働活動など、地域と共に小中のPTAが連携した取組を行っている。これらの活動が子どもたちの郷土愛の育成や前述の課題の解決につながるのではないかと期待している。</p> <p style="text-align: center;"><2020年度PTA活動のテーマ> 「共に学び 共に語り 共に考え行動する 育つPTA」</p> <p style="text-align: center;">PTA 組織図</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">総 会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">執行部</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">全委員会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">常任委員会</div> </div> <div style="margin: 0 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・学年部長・副部長 ・保体部長・副部長 ・文化部長・副部長 ・広報部長・副部長 ・社会教育部長・副部長 </div> <div style="margin: 0 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 各 委 員 会 ・ 部 会 </div> </div>	
研究テーマ	<p>本校区にはボランティアをして下さる地域の方が多い。また学校でも、ボランティアスタッフの募集に対して生徒会や専門委員会を中心に多くの生徒が集まり、それらの活動に対する意欲も高い。</p> <p>そこで、以下の3点から生徒の健全育成や落ち着いたもののある学校環境の整備を進めることとした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前年度からの「生け花活動」の継続。 2 地域行事ボランティアへの積極的参加の奨励。 3 「彦島中なんでも座談会」の実施。 <p>子どもたちの「生きる力」を育てることを大きなテーマとしたこれらの活動を通して学習環境を落ち着いたものとし、学力向上等を図りたいと考えた。またあわせて、子どもたちの郷土愛を育み、周囲から認められ、地域に貢献できる人材になるようとする意欲や態度の育成もこれらの活動を通して活性化するものと思われる。</p>	

<p>成果と課題</p>	<p>昨年度までにそれぞれの活動が徐々に軌道に乗り、更に拡大・進化していく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどの活動を中止せざるを得ない状況であった。生け花活動には多くの生徒が参加するようになり、心豊かで潤いのある学習環境作りに貢献するとともに校内のボランティアの意識の高揚にも一役買っていたが残念である。</p> <p>また、地域行事ボランティアへの参加については、PTA会員のサポートにより、夏期を中心にした各小学校区での夏まつり運営ボランティア等への自主的な参加生徒が増え、地域の方々より様々なところで感謝の声が聞かれるようになったところであった。中学校がさらなる協力や理解を得られるようになりつつあると感じられていただけに、このたびのコロナ禍による活動の停止が惜しまれる。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息した暁には、これらの活動を通して学習環境の整備や学力の向上、地域との連携の強化が図られ、学校を中心にしたコミュニティの好循環を生み出し、これらが継続的な事業となって、学校や地域で無理なく実践されていく流れを途切れさせないような働きかけをいかにしていくかが課題である。</p>
<p>活動内容</p>	<p>以下の活動を行う予定であったが、座談会以外はほとんど実施できなかった。</p> <p>1 前年度からの「生け花活動」の継続 学期末に1回程度、保護者会等で来校者が増えるタイミングに合わせて、生徒にボランティアを募って実施。男女を問わず10名～15名の生徒がCSコーディネータを中心にした3～4名のボランティアスタッフの指導や助言をいただきながら、小さな花瓶等に生花のアレンジメントを作り、校内の要所に飾る活動。</p> <p>2 地域行事ボランティアへの積極的参加の奨励 各地区での夏まつりや防災訓練の運営スタッフ等、呼びかけに応じて主体的に参加する生徒が増え、地域の方より様々なところで感謝の声が上がっていた。地域の方々から更なる協力を得て活動を広げる予定であった。</p> <p>3 「彦島中なんでも座談会」の実施 各学期に1回程度、テーマを設定し、彦島中学校と校区内の3小学校のPTAや地域の方に参加していただくきさく「座談会」を実施した。1学期は感染症対策のため開催できなかったが、2・3学期はなんとか実施することができた。</p>

<写真・資料> 今年度の座談会や昨年度の生け花教室等の様子

